



市民科学講演会「宇宙を見る新しい目、重力波」開催のお知らせ

九州大学と日本物理学会は、日本物理学会第74回年次大会の会期中の3月16日(土)に九州大学伊都キャンパスにおいて、一般の方に物理学に親しんでいただくための講演会を開催します。今、注目を集めている重力波の観測と、それにより解明される宇宙の謎について、第一線の研究者がわかりやすくお話しします。

◆市民科学講演会「宇宙を見る新しい目、重力波」

講演1 杉山 直(名古屋大学)「重力波天文学始動」

講演2 安東正樹(東京大学)「重力波で探る宇宙」

日時:平成31年3月16日(土) 13時30分~16時30分(開場13時)

会場:九州大学椎木講堂(伊都キャンパス)福岡市西区元岡744

定員:1,000名(先着順) 無料・申し込み不要

対象:ご興味のある方、どなたでも

主催:日本物理学会、九州大学

後援:福岡県教育委員会、福岡市教育委員会

ホームページ: <http://www.phys.kyushu-u.ac.jp/jps2019/public/public.html>

【日本物理学会年次大会について】

主に国内の物理学研究者が例年約5,000名参加します。

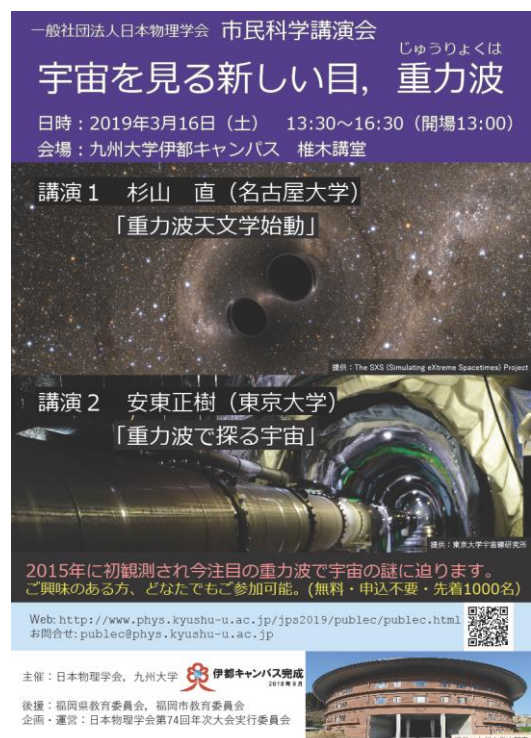
今年は3月14日~17日の間に九州大学で開催されます。九州大学(福岡市)での開催は15年ぶりとなります。

【重力波とは】

アインシュタインが存在を予言してから約100年後の2015年に初めて観測されました。

これまでに、ブラックホールや中性星からなる連星の合体により発生したものが観測されています。

今後、初期宇宙からの重力波などの観測も期待され、宇宙の理解が飛躍的に進むと考えられます。日本でも観測を目指し重力波望遠鏡KAGRAの調整が進められています。



※詳細につきましては別添資料をご覧ください。

【お問い合わせ】

九州大学理学研究院 物理学部門 准教授 寺西 高

電話:092-802-4061 または 092-802-4101 FAX:092-802-4107

Mail: public@phys.kyushu-u.ac.jp

宇宙を見る新しい目，重力波

日時：2019年3月16日（土） 13:30～16:30（開場13:00）

会場：九州大学伊都キャンパス 椎木講堂

講演1 杉山 直（名古屋大学）

「重力波天文学始動」

提供：The SXS (Simulating eXtreme Spacetimes) Project

講演2 安東正樹（東京大学）

「重力波で探る宇宙」

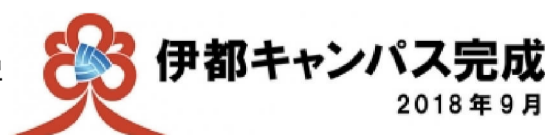
提供：東京大学宇宙線研究所

2015年に初観測され今注目の重力波で宇宙の謎に迫ります。
ご興味のある方、どなたでもご参加可能。（無料・申込不要・先着1000名）

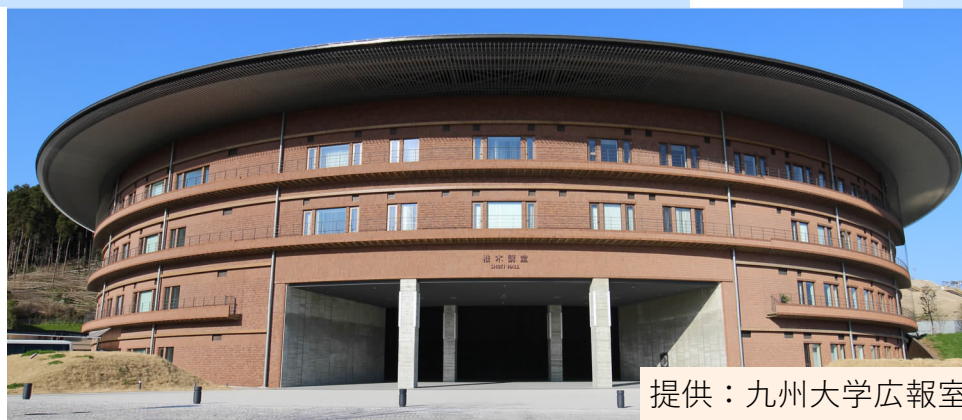
Web: <http://www.phys.kyushu-u.ac.jp/jps2019/publec/publec.html>
お問合せ: publec@phys.kyushu-u.ac.jp



主催：日本物理学会，九州大学



後援：福岡県教育委員会，福岡市教育委員会
企画・運営：日本物理学会第74回年次大会実行委員会



提供：九州大学広報室

宇宙を見る新しい目，^{じゅうりょくは}重力波

日時：2019年3月16日（土） 13:30～16:30（開場13:00）

会場：九州大学伊都キャンパス 椎木講堂

入場無料 定員1000名（先着順・申込不要）

講演1 「重力波天文学始動」



アインシュタインがその存在を予想してから100年，2015年に、ついに重力波が受けました。重力波とはどのようなものなのでしょうか。また、重力波はどうやったら作られるのでしょうか。重力波によって知ることのできるのは、これまで誰も知ることのできなかつた宇宙の姿です。今、まさに始まった「重力波天文学」について紹介します。

杉山 直（名古屋大学）

名古屋大学大学院理学研究科教授（研究科長），東京大学カブリ数物連携宇宙研究機構主任研究員。

早稲田大学理工学部物理学科卒業，広島大学大学院理学研究科修了，理学博士。東京大学理学部助手，米カリフォルニア大学バークレイ校研究員，京都大学理学研究科助教授，国立天文台理論天文学研究系教授を経て現職。専門は宇宙論，特に宇宙マイクロ波背景放射の理論的研究。西宮湯川記念賞，日本学術振興会賞，日本天文学会林忠四郎賞を受賞。日本学術会議連携会員。

講演2 「重力波で探る宇宙」



2015年の初観測以来，「重力波」を用いることで，従来の電磁波観測では分からなかつた新たな宇宙の姿が見えてきています。この講演では，日本で建設が進められている重力波望遠鏡KAGRAや初期宇宙を観測する宇宙重力波望遠鏡を中心に「重力波天文学」の可能性についてお話します。

安東正樹（東京大学）

平成6年3月 京都大学 理学部 物理系学科 卒業

平成8年3月 東京大学 大学院理学系研究科 物理学専攻修士課程 修了

平成11年3月 東京大学 大学院理学系研究科 物理学専攻博士課程修了

平成11年4月 日本学術振興会 特別研究員 (PD)

平成11年8月 東京大学 大学院理学系研究科 助手

平成19年4月 東京大学 大学院理学系研究科 助教

平成21年1月 京都大学 大学院理学研究科 特定准教授

平成24年6月 国立天文台 光赤外研究科 准教授

平成25年4月 東京大学 大学院理学系研究科 准教授（現在に至る）

会場アクセス、団体様ご来場に関して

Web: <http://www.phys.kyushu-u.ac.jp/jps2019/publec/publec.html>

お問合せ: publec@phys.kyushu-u.ac.jp



主催：日本物理学会，九州大学



後援：福岡県教育委員会，福岡市教育委員会

企画・運営：日本物理学会第74回年次大会実行委員会

提供：九州大学広報室

